

### - 3 . LP ガス集中監視システム導入実態調査

#### Survey on the Introduction of LP Gas Centralized monitoring System

キーワード	集中監視システム, ブロードバンド, センサー
Key Word	Broadband, Centralized monitoring System, Sensor

#### 1. 調査の背景, 目的

LP ガス集中監視システムは、LP ガス使用世帯に設置されているマイコンメーター等と LP ガス販売事業者のコンピュータを一般の電話回線を介して接続するシステムで、ガス管からの漏洩等を集中的に監視して消費者の安全の確保するとともに、自動検針・合理的な配送等ガス販売事業者の業務の合理化・省力化に寄与するシステムである。さらに、LP ガス集中監視システムは、各種のセンサーを接続することで、防犯・防火等のセキュリティ事業・高齢化対策等社会福祉事業等多方面への事業拡大が可能となり、LP ガス販売事業者にとって極めてメリットの大きいシステムである。

2003 年末現在、LP ガスユーザ約 2500 万世帯のうち集中監視システムユーザは約 20%、50 万世帯と推測され、2005 年までに、全ユーザ世帯の約 70% (約 1800 万世帯) に LP ガス集中監視システムを普及拡大させることが見込まれている。さらに、ADSL など各家庭の通信ネットワークのブロードバンド化とともに、LP ガス集中監視システムも機能の高度化を図る必要性が高まっている。

このような状況の下で 2005 年の LP ガス集中監視システム普及率 70% 達成のためには、各 LP ガス販売事業者の集中監視システム導入状況をより正確に把握するとともに、今後の普及拡大に向けた課題を抽出することが必要である。

そこで、LP ガス集中監視システムの導入実態と課題を把握することを目的としてアンケート調査を行い、LP ガス集中監視システム普及拡大策展開の基礎資料とした。

#### 2. 調査研究成果概要

##### (1) アンケート調査実施概要

- ・調査対象：LP ガス集中監視システムのセンターを運営している事業者 96 社
- ・調査方法：郵送および電子メール等でアンケートを依頼し、指定した Web サイトにアクセスして回答
- ・アンケート回答数，回答率：アンケート有効回答数 48 社，有効回答率 50.0%

##### (2) アンケート調査結果概要

LP ガス契約数および LP ガス集中監視システム契約数の推移 (1999 年～2003 年)

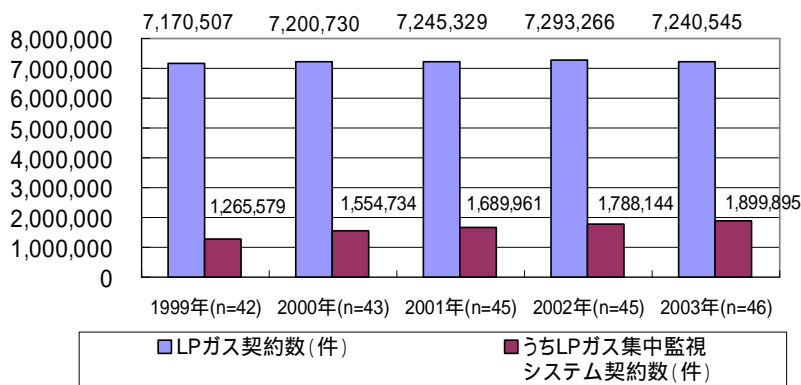


図1 LP ガス契約数および集中監視システム契約数の推移

- ・最近 4 年間の回答企業の LP ガス契約数は総計すると 720 万件前後で推移している。
- ・2003 年の LP ガス契約数の規模別で見ると、過半数が 2 万件以下である。最大は 312 万件的

契約者を有する企業があり、平均契約数は約 15 万件。

- LP ガス集中監視システムの契約数は約 63 万件増加して 190 万件となっている。ガス契約者に占める割合も 17.6% から 26.2% へ拡大している

集中監視システム用の通信回線の種類別構成比の推移 (1999 年～2003 年)

- 通信回線は固定電話回線 (ダイヤルアップ回線) が大部分を占めている (2003 年末で約 8 割)。ここ 4 年間で固定電話回線の割合は 1 割以上減少し、ADSL などブロードバンド回線が増加してきている。

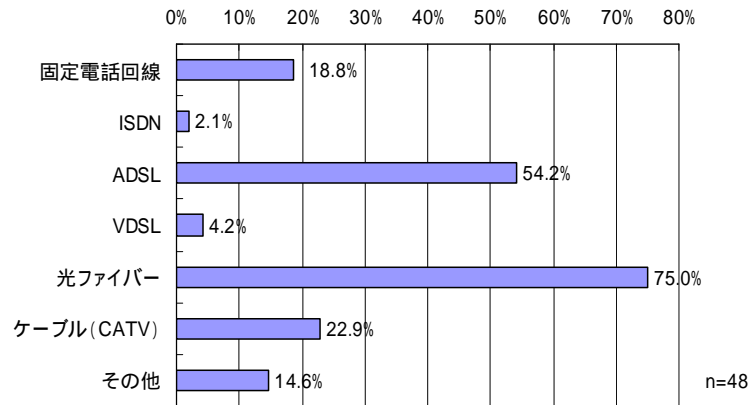


図2 今後のLPガス集中監視センターと端末(契約者)間の通信ネットワーク(複数回答)

### LP ガス集中監視システムの高機能化意向

- 集中管理システムの高機能化、新サービス展開に関しては回答企業の 6～7 割が (現時点では) 態度を保留している状況である。
- 提供意向の多い新サービスとしては、「ガス機器の遠隔操作」「携帯電話等によるガス機器の遠隔操作」「独居老人の見守りサービス」などがあり、逆に「不審者侵入時の警備員出動サービス」までは提供しないという意向が強い。

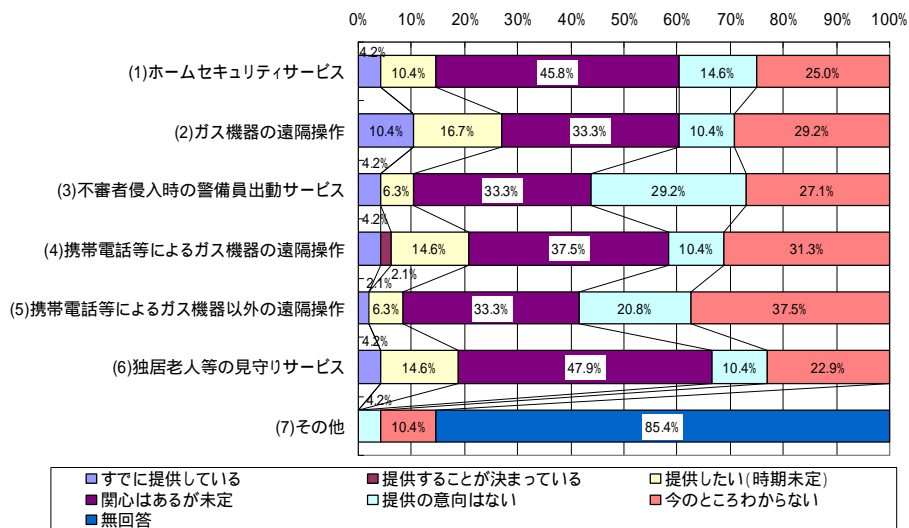


図3 LP ガス集中監視システムの高機能化意向

### 今後のLP ガス集中監視システムの普及拡大策

- 今後 LP ガス集中監視システム普及拡大のために必要な方策としては、「端末設備設置コストの低減」「契約者側の通信環境変化に対応したシステムリニューアル」が多く指摘されている。さらに第三の方策として「ホームセキュリティサービス等付加価値サービスの提供」

があげられ、ブロードバンド化への対応と LP ガス集中監視システムの高機能化が、加入者数の拡大に寄与することが期待される。